

■特集	159
■連載	161
■トピックス	163

■取材記事	163
■臨時増刊号	165

## 特集

### 1月号 周術期患者への薬学的介入

- ・特集にあたって／落合亮一，舟越亮寛 (1・19)
- ・手術に使われる薬のなぜ／鈴木孝浩 (1・21)
- ・薬学的管理のポイント
  - －術前 (外来・入院前)／奥貞 智，橋田 亨 (1・27)
  - －術中／柴田みづほ，石井伊都子 (1・35)
  - －術中・術後／長谷川哲也 (1・43)
  - －退院時 (外来・在宅)／越智良明，天野しのぶ，舟越亮寛 (1・49)
- ・感染管理・栄養管理の鉄則
  - －感染管理／矢口義久，福島亮治 (1・55)
  - －栄養管理／丸山道生 (1・61)
- ・気をつけたい薬の選び方と使い方
  - －抗凝固薬・抗血小板薬／和田英夫，松本剛史，青田卓実，山下芳樹 (1・69)
  - －糖尿病治療薬／藤田直也，田中祐司 (1・75)
  - －鎮痛薬／川股知之 (1・83)
  - －ステロイド／後藤洋仁，後藤隆久 (1・88)

### 2月号 薬剤性肺障害のとらえ方

- ・特集にあたって——なぜいま，薬剤性肺障害が重要なのか？／花岡正幸 (2・183)
- ・薬剤性肺障害の定義，発症機序，臨床病型／三尾友彦，金澤實 (2・185)
- ・日本における薬剤性肺障害の臨床像／牛木淳人 (2・191)
- ・薬剤性肺障害を疑うポイントと検査の進め方／服部 登 (2・197)
- ・薬剤性肺障害の診断と治療の進め方／橋本 修，清水哲男，高橋典明 (2・201)
- ・薬剤性肺障害と鑑別が必要な呼吸器疾患／横山彰仁 (2・208)
- ・頻度の高い薬剤と肺障害の特徴
  - －抗がん薬 (分子標的治療薬を除く)／西條康夫 (2・213)
  - －分子標的治療薬／齋藤好信，弦間昭彦 (2・217)
  - －関節リウマチ治療薬／亀田秀人 (2・223)
  - －免疫抑制薬／岡田里佳，猪熊茂子 (2・229)
  - －その他の薬剤——漢方薬，抗不整脈薬，サプリメント／津島健司 (2・235)

### 3月号 糖尿病性腎症の治療マネジメント

- ・特集にあたって／三宅健文，井上 岳 (3・341)
- ・糖尿病性腎症の病態と治療方針／八田 告 (3・343)
- ・血糖管理で知っておきたい臨床検査値の読み方／恩田美湖，西村理明 (3・351)

### ・薬剤師による実践的マネジメント

- －腎症ステージに応じた薬学的血糖管理——腎症2期／小林庸子 (3・357)
- －腎症ステージに応じた薬学的血糖管理——腎症3期／井上岳 (3・363)
- －腎症ステージに応じた薬学的血糖管理——腎症4期 (腎不全期)・5期 (透析療法期)／三宅健文 (3・371)
- －腎性貧血の薬学的管理のポイント／林八恵子，利川恵理子，塚本有子 (3・377)
- －保険薬局で実践する糖尿病性腎症の薬学的管理／森 貴幸 (3・383)
- ・いざというとき役立つ療養指導のスキル
  - －インスリン療法——治療の鉄則から打ち方のコツまで／内野泰，弘世貴久 (3・389)
  - －糖尿病性腎症の食事療法のポイント／川手由香，仲村ゆうな，桑原未季，池田美美，森 温子，服部武志 (3・396)
  - －糖尿病性腎症の運動療法のポイント／天川淑宏 (3・403)
  - －糖尿病性腎症患者への看護ケア／豊島麻美 (3・413)
- ・一歩進んだ糖尿病療養指導を行う次世代薬剤師の育成——療養指導からエンパワーメントによる患者支援へ／岡田 浩 (3・419)

### 4月号 がん疼痛緩和の新薬はこう使う

- ・特集にあたって／片山志郎，伊勢雄也 (4・515)
- ・突出痛のメカニズムとレスキュー薬の基本的使い方／富安志郎，松尾由加里 (4・517)
- ・フェンタニル速効性製剤 (舌下錠) の使い方／鈴木規仁 (4・525)
- ・フェンタニル速効性製剤 (パッカル錠) の使い方／岡本禎見 (4・531)
- ・ROO製剤の適切なマネジメント／中村博子，加藤あゆみ，鈴木 藍，片山志郎 (4・535)
- ・レスキュー薬の自己管理導入に向けたポイント／高田慎也 (4・541)
- ・メサドンの使い方／関根龍一 (4・547)
- ・タベンタドールの使い方——基礎の側面から／中川貴之 (4・553)
- ・タベンタドールの使い方——臨床の側面から／龍 恵美 (4・559)
- ・アセトアミノフェン静注製剤の使い方／高橋麻利子，伊東俊雅 (4・565)
- ・オキシコドン注射製剤の使い方／大坂 巖 (4・571)
- ・緩和ケア領域の気になるトピックス
  - －せん妄に対する薬物療法／大西秀樹，石田真弓 (4・577)
  - －がん悪液質と疼痛治療／山田岳史，菅野仁士，内田英二 (4・583)
  - －がん患者の排便マネジメント——病態に応じた薬物療法／今井堅吾 (4・587)

5月号 一歩進んだ薬学的介入

- ・特集にあたって／谷川原祐介 (5・679)
- ・米国協働薬物治療管理 (CDTM) の日本における取り組み／中西弘和 (5・681)
- ・医師の立場からみた薬剤師との協働薬物治療管理 (CDTM) ——がん治療におけるより良いチーム医療を目指して／高橋孝夫, 吉田和弘, 松橋延壽 (5・687)
- ・外来がん患者をサポートするマネジメント——診察前面談や電話サポートを中心に／佐藤淳也 (5・695)
- ・外来がん患者をサポートするマネジメント——情報提供や経口抗がん薬への関わりを中心に／吉村知哲 (5・701)
- ・抗EGFR抗体による皮膚障害マネジメント／湊川紘子 (5・707)
- ・協働薬物治療管理とEBM——造血管腫瘍化学療法時の血糖管理を中心に／土手賢史, 澤井麻記, 小林由佳 (5・713)
- ・MRSA治療における抗菌薬マネジメント／村木優一, 奥田真弘 (5・719)
- ・整形外科での疼痛マネジメント／藤岡貴光 (5・723)
- ・心臓血管外科での鎮痛薬・睡眠薬・緩下剤マネジメント／塚田絢子, 村上幹親, 松本利恵, 野田孝夫 (5・729)
- ・精神科領域での薬剤師による検査オーダー／馬場寛子 (5・733)
- ・プロトコールに基づいた療養病棟での薬剤師による検査オーダーと処方提案／薬 則明 (5・739)

6月号 小児感染症

- ・特集にあたって／岩田 敏 (6・835)
- ・小児感染症における薬剤耐性菌への対応／坂田 宏 (6・837)
- ・病態から治療までのポイント
  - －脳炎・脳症／庄司健介, 宮入 烈 (6・843)
  - －細菌性髄膜炎／西順一郎 (6・849)
  - －肺炎／尾内一信 (6・855)
  - －急性中耳炎／工藤典代 (6・861)
  - －感染性胃腸炎／津川 毅 (6・867)
  - －尿路感染症／田島 剛 (6・873)
  - －新生児感染症／城 裕之 (6・877)
- ・知っておきたい抗菌薬の使い方
  - －小児領域における抗菌薬の使い方／佐藤吉壮 (6・883)
  - －バンコマイシン／池谷 修 (6・891)
  - －テイコプラニン／山田孝明 (6・895)
  - －アミノグリコシド系薬／木村利美 (6・899)
  - －抗真菌薬／松元一明 (6・903)
  - －ワクチン接種の際に注意すべき併用薬／岡田賢司 (6・911)

7月号 抗凝固療法フラッシュアップ

- ・特集にあたって／山下武志 (7・999)
- ・抗凝固薬の基本を知る
  - －抗凝固療法が必要とされる病態を知る／中村真潮 (7・1001)
  - －あらためて古典的抗凝固薬ワルファリンをみる／奥山裕司 (7・1009)
- ・新規抗凝固薬を俯瞰する
  - －新規抗凝固薬の薬理学を理解する／高橋尚彦 (7・1015)
  - －新規抗凝固薬を用いた大規模臨床試験を俯瞰する／廣瀬紗也子, 宮本康二, 草野研吾 (7・1021)

- ・新規抗凝固薬を使う
  - －ダビガトラン／鈴木信也 (7・1029)
  - －リバーロキサバン／湯澤ひとみ, 藤野紀之, 池田隆徳 (7・1035)
  - －アピキサバン／林 明聡, 清水 渉 (7・1041)
  - －エドキサバン／是恒之宏 (7・1047)
- ・高リスク患者での注意点／大塚崇之 (7・1053)
- ・抜歯, 内視鏡, 外科手術時の対応／市川智英, 渡邊英一 (7・1059)
- ・アドヒアランスの重要性／志賀 剛 (7・1063)
- ・薬剤師からみた新規抗凝固薬の登場／古根慶子 (7・1069)

8月号 高齢者の静脈栄養法

- ・特集にあたって——プラスαの輸液力を磨こう！／倉本敬二 (9・1423)
- ・高齢者の静脈栄養法に対峙する／井上善文 (9・1425)
- ・高齢者と栄養——フレイル・サルコペニアを知る／若林秀隆 (9・1433)
- ・水と電解質の投与管理／野崎 歩 (9・1439)
- ・総投与熱量と3大栄養素——脂質／倉本敬二 (9・1445)
- ・総投与熱量と3大栄養素——アミノ酸／室井延之 (9・1450)
- ・総投与熱量と3大栄養素——糖質／林 勝次 (9・1457)
- ・微量元素・ビタミン／井口智恵, 松原 肇 (9・1463)
- ・投与ルート——感染管理も含めて／谷口知慎, 谷村 学 (9・1471)
- ・キット製剤の功罪／勝山 壮 (9・1477)
- ・業務効率化のためのIT活用／丘 龍祥 (9・1483)
- ・在宅での静脈栄養法——HPNをいかに安全・安心に継続するか／白石丈也 (9・1491)

9月号 スペシャルレビューのがん薬物療法

- ・特集にあたって／安藤雄一 (10・1587)
- ・肝機能が低下している患者／増田 淳, 内山美由紀, 小金丸茂博, 尾崎由記範, 田辺裕子, 三浦裕司, 高野利実 (10・1589)
- ・B型肝炎既感染の患者／楠本 茂 (10・1597)
- ・腎機能低下患者／寺田智祐, 藪田直希, 野田哲史 (10・1605)
- ・心機能低下患者／藤田行代志 (10・1617)
- ・間質性肺炎・呼吸機能障害を伴う患者／佐多将史, 加藤晃史 (10・1625)
- ・糖尿病患者／土手賢史, 小林由佳 (10・1631)
- ・抗凝固療法を受けている患者／満間綾子 (10・1637)
- ・高齢患者／内藤淑子, 田村和夫 (10・1643)
- ・肥満患者／若林雅人 (10・1649)
- ・妊娠中の患者／日置三紀, 岩本卓也, 奥田真弘 (10・1655)
- ・予期性悪心・嘔吐への対応／鈴木賢一 (10・1663)
- ・妊孕性温存とがん薬物療法／河合由紀 (10・1671)
- ・アドヒアランスが悪い患者／林 稔展 (10・1678)

10月号 認知症の薬物療法

- ・特集にあたって／一宮洋介 (11・1775)
- ・認知症の基礎知識
  - －代表的な認知症の症状と診断／品川俊一郎, 繁田雅弘 (11・1777)

- 認知症と鑑別を要する精神症状——うつ病/馬場 元 (11・1783)
- 認知症と鑑別を要する精神症状——せん妄/八田耕太郎 (11・1789)
- 認知症治療薬の特徴と使い方
  - ドネペジル/内海久美子 (11・1795)
  - ガラントミン/下濱 俊 (11・1801)
  - リバスタチミン/中村 祐 (11・1807)
  - メマンチン/北村 伸 (11・1815)
- BPSDに対する薬物療法
  - 向精神薬/熊谷 亮 (11・1821)
  - 漢方薬/水上勝義 (11・1827)
- 患者支援に向けた薬剤師の実践
  - 認知症患者支援における多職種チームの要として/中村友喜 (11・1833)
  - 患者一人ひとりに最適の治療を/橋本保彦 (11・1839)

### 11月号 非がん・高齢者疾患の緩和ケア

- 特集にあたって/久保川直美, 西川満則 (12・1939)
- 非がん・高齢者疾患の緩和ケアとは——非がん患者の緩和ケアの課題と展望/久保川直美 (12・1941)
- 慢性呼吸器疾患の緩和ケア/松田能宣, 加藤邦子 (12・1947)
- 慢性心不全の緩和ケア/高田弥寿子, 菅野康夫 (12・1953)
- 認知症の緩和ケア/高梨早苗 (12・1959)
- 慢性呼吸器疾患におけるモルヒネ製剤使用時のポイント/松田能宣, 小川智子 (12・1965)
- 慢性心不全におけるモルヒネ製剤使用時のポイント/安井博規 (12・1969)
- 認知症患者に対するBPSD治療薬使用時のポイント/服部英幸 (12・1975)
- 意思決定支援の方法——Advance Care Planning (ACP) と End-Of-Life Discussion (EOLD) /西川満則, 久保川直美, 高梨早苗, 川崎奈津子, 高見雅代, 木下かほり, 服部英幸, 三浦久幸 (12・1981)
- 非がん・高齢者疾患の緩和ケアチーム——国立長寿医療研究センターの取り組み/久保川直美, 高梨早苗, 川崎奈津子, 高見雅代, 木下かほり, 服部英幸, 西川満則 (12・1987)
- 非がん・高齢者疾患の緩和ケアチーム——国立循環器病研究センターの取り組み/小田亮介, 岩澤真紀子 (12・1993)
- 在宅での非がん・高齢者疾患の緩和ケア/中島一光, 横江由理子 (12・1999)
- 在宅訪問薬剤師による非がん疾患の支援——特に認知症患者について/樋丈一郎 (12・2005)

### 12月号 妊娠・授乳と薬物療法の最新知識

- 特集にあたって/濱田洋実 (13・2113)
- 治療の考え方と薬の選び方・使い方
  - 高血圧・妊娠高血圧症候群/成瀬勝彦 (13・2115)
  - てんかん——妊娠可能年齢の女性に対する治療/北澤 悠, 神 一敬, 中里信和 (13・2121)
  - 精神疾患——特にうつ病に注目して/鈴木利人 (13・2127)
  - 膠原病/橋本就子, 村島温子 (13・2133)

- 甲状腺機能異常/荒田尚子 (13・2139)
- 気管支喘息/谷口正実, 関谷潔史 (13・2145)
- 妊娠・授乳期女性への服薬指導・リスクコミュニケーションのポイントを知る/八嶽奈穂, 中島 研 (13・2151)
- 妊娠・授乳と薬物療法に関する診療ガイドラインを知る/小島真奈 (13・2157)
- チーム医療における妊婦・授乳婦専門薬剤師の位置づけ——求められるリスク評価と服薬カウンセリング/林 昌洋 (13・2163)

## 連載

### 【適応外使用の処方せんの読み方】 / 藤原豊博

- [55] 尿路結石 (1・145)
- [56] 非心臓手術周術期の心事故管理—— $\beta$ 遮断薬 (2・299)
- [57] ERCP後膵炎の予防 (3・479)
- [58] セロトニン症候群 (4・641)
- [59] 異所性妊娠 (子宮外妊娠) (5・803)
- [60] レイノー現象 (レイノー病・レイノー症候群) (6・965)
- [61] 突発性難聴 (7・1127)
- [62] 月経の人工移動 (9・1551)
- [63] 家族性地中海熱 (10・1739)
- [64] 片頭痛 (11・1903)
- [65] マクロライド系抗菌薬による下痢の予防 (12・2073)
- [66] 鼻茸 (13・2239)

### 【時めき臨床研究】 / 福岡真悟, 福原俊一, 渡部一宏, 関根祐子

- [22] 薬剤師が現場で行う臨床研究——解析方法の選択 (1・137)
- [23] 薬剤師が現場で行う臨床研究——臨床研究に関する倫理的配慮 (2・291)
- [24] (完) 薬剤師が現場で行う臨床研究——まとめ (3・453)

### 【知っ得！ 薬剤師業務に活きるIT・アプリ】

- [13] PDFで文書を上手に管理する方法/荒 義昭 (1・151)
- [14] 予防接種のスケジュールをアプリで管理/會田麻理 (2・305)
- [15] 複数施設における情報の共有——コマンドプロンプトとラントタイム版データベースの活用/木津 茂 (3・485)
- [16] 栄養管理を学べるWebサイト/高橋正明 (4・647)
- [17] いろんなシーンで医薬品情報を検索してみよう/若林 進 (5・797)
- [18] 災害時におけるIT——停電が発生したときの対応は考えていますか? /飯田優太郎 (6・971)
- [19] あなたにもできるプログラミング——エクセルVBAで業務効率化/久保泰地 (7・1135)
- [20] 急性中毒対応に使えるWebサイト/野村浩子 (9・1557)
- [21] アンチドーピングで使えるWebサイトとアプリ/山田仁之 (10・1745)
- [22] iPadを用いた服薬指導/佐藤彰弘 (11・1909)
- [23] 医薬品有害事象データベースを用いた検索/中尾元紀 (12・2083)

- [24] ワイヤレス&モバイルなプレゼンシステムを使ってみよう  
／高田敦史 (13・2235)

**【適応拡大クローズアップ】**

- [10] ピマトプロスト／河合悦子 (1・109)  
[11] インドシアニングリーン注/インジゴカルミン/佐藤弘康  
(2・249)  
[12] アルプロスタジル アルファデクス/田中 守 (3・432)  
[13] メトロニダゾールゲル/渡部一宏 (5・759)  
[14] 静注メトロニダゾール/小川竜一 (9・1515)  
[15] ラモセトロン塩酸塩錠/山本知佳 (13・2186)

**【医師とのmutual respectに必要な臨床医学知識】**

- [10] ①多嚢胞性卵巣症候群/中原辰夫 ②マイコプラズマ肺炎  
／上野たまき (1・126)  
[11] ①甲状腺中毒症の鑑別と治療/久門真子 ②治療が必要な  
「痙縮」——中枢神経障害による痙縮と生活障害/三石敬之  
(2・273)  
[12] (完) ①くも膜下出血とその経過——再出血, 脳血管攣縮と  
水頭症/高島英昭 ②在宅看取り/北澤彰浩 (3・464)

**【病態を正しく見抜く! 臨床検査値ケースファイル】** /村上純子

- [5] 58歳男性 主訴: 歯肉出血, 紫斑, 発熱 (1・116)  
[6] 35歳女性 主訴: 浮腫, 体重増加 (2・262)  
[7] 63歳男性 主訴: 口渇, 体重減少 (3・440)  
[8] 58歳男性 主訴: 腹痛, 意識障害 (4・628)  
[9] 28歳女性 主訴: 発熱, 下痢, 意識障害 (5・784)  
[10] 2歳5カ月男児 主訴: 発熱, 発疹, 黄疸 (6・950)  
[11] 75歳女性 主訴: 意識障害 (7・1096)  
[12] 73歳女性 主訴: 腰痛, 高蛋白血症 (9・1524)  
[13] 61歳女性 主訴: 嘔気, 腰背部痛, 全身倦怠感 (10・1718)  
[14] 21歳女性 主訴: 発熱, 手首と指の疼痛 (11・1870)  
[15] 72歳女性 主訴: 胆石, 胆嚢腫大 (12・2054)

特別編 [1] 73歳女性 主訴: 労作時の息切れ, 全身倦怠感, 味  
覚の異常 (味がしない) (13・2209)

**【頑張る薬剤師の挑戦発掘プロジェクト!】**

- [4] 臨床研究を介した病院薬剤師としての医療貢献/中島 誠  
(1・3)  
[5] 外来患者への積極的な薬学的介入を目指して/小倉敬史  
(2・167)  
[6] がん治療における薬剤師の未来を切り拓くために/横川貴志  
(3・319)  
[7] 高度急性期を担う薬剤師が送る百折不撓の日々/柴田啓智  
(4・499)  
[8] 慢性腎臓病患者への関わり——専門知識の追求と広がりを目  
指して/浦田元樹 (5・663)  
[9] 患者に薬を渡すのは薬剤師/五十嵐敏明 (6・819)  
[10] がん治療においてがん専門薬剤師は何ができるか——患  
者志向型の支援および専門性を活かした業務と研究/石川 寛  
(7・983)

- [11] 地方中小病院薬剤師の日常目線からひと工夫!! ——食事風  
景から服薬支援につなげる/岸本 真 (9・1407)  
[12] 仕事の先にはいつも患者さんがいる/板垣麻衣 (10・1571)  
[13] ネットワークを活かした感染対策・エビデンスの発信——  
専門薬剤師取得を目指した新潟県内での施設間連携/三星 知  
(11・1759)  
[14] 求められる中小病院薬剤師を目指して/荒川隆之 (12・  
1923)  
[15] 個々の患者さんにあわせた最適な薬物療法を目指して/山  
代栄士 (13・2097)

**【海外留学記 シドニー大学大学院で臨床疫学を学ぶ】** /藤田健二

- [1] 社会人留学の意義 (4・595)  
[2] 研究の“作法”と“手法”を身につける (5・749)  
[3] 大学院生活におけるタイムマネジメントの重要性 (6・923)  
[4] (完) 海外留学で得られる知識の広さと深さ (7・1139)

**【オチる前に読む! 感染症治療のピットフォール】**

- [1] 尿路感染症のピットフォール/吉岡陸展 (4・611)  
[2] 市中肺炎のピットフォール/石坂敏彦 (5・767)  
[3] 院内肺炎のピットフォール/長谷川豊 (6・941)  
[4] 感染性心内膜炎のピットフォール/大八木秀和 (7・1107)  
[5] *Clostridium difficile*感染症のピットフォール/小泉祐一 (9・  
1535)  
[6] 発熱性好中球減少症のピットフォール/安井友佳子 (10・  
1727)  
[7] 重症皮膚軟部組織感染症のピットフォール/山下和彦 (11・  
1885)  
[8] 人工関節感染症のピットフォール/高橋佳子 (12・2037)  
[9] カテーテル関連血流感染症のピットフォール/吉岡陸展  
(13・2217)

**【深読み添付文書】** /野村香織

- [1] 添付文書ができるまで (4・619)  
[2] その添付文書は最新ですか? (5・779)  
[3] 薬の命名——取り違えを防ぐために (6・961)  
[4] 大事なことは冒頭に——警告・禁忌 (7・1119)  
[5] 医薬品は“有効成分”と“添加物”でできている (9・1547)  
[6] 医薬品の開発戦略と効能・効果 (10・1711)  
[7] 医薬品のベネフィットの最大化のための用量 (11・1897)  
[8] 投薬後の有害事象を未然に防ぐ——慎重投与・重要な基本的  
注意 (12・2065)  
[9] 薬剤師への期待と医薬品相互作用 (13・2203)

**【薬剤師業務が変わる 医療機器の基礎知識】** /河原 敦

- [1] 医療機器の概要と薬理作用を有する薬物が構成原材料の医療  
機器 (11・1866)  
[2] 医薬品の投与機器としての医療機器と薬剤師 (12・2078)  
[3] (完) 薬物・薬物療法の併用を前提とした医療機器——ステ  
ントと抗血小板療法 (13・2245)

【審査報告書の読み方入門講座】／益山光一

[1] 審査報告書とは何か (13・2198)

【海外学会見聞録】

[1] 感染症 25th ECCMID, ICAAC 2015／前田真之 (13・2193)

トピックス

- ・中小病院で実践する病棟薬剤業務支援の取り組み／佐村 優 (1・95)
- ・製薬会社の製品説明パンフレットの正しい読み方／南郷栄秀 (6・917)
- ・抗菌薬使用量の新たな評価指標Days of Therapyとは？／丹羽隆, 伊藤善規 (7・1075)
- ・あなたの施設, GSIデータバーに対応していますか？——活用のポイント・注意点／佐藤弘康, 小森 均 (7・1079)
- ・医療専門職者が気をつけたい製薬企業との付き合い方／宮田靖志 (9・1499)
- ・インタラクショナルデザインで薬学教育実践に科学的な裏づけを／鈴木克明 (9・1505)
- ・透明性のある米国の専門薬剤師制度——第三者機関の仕組み作りの重要性／岩澤真紀子 (10・1685)
- ・精神疾患の診断分類「DSM-5」の特徴を読み解く／野田幸裕, 吉見 陽 (10・1691)
- ・コクランライブラリとコクラン共同計画／佐々木八十子, 大田えりか, 森臨太郎 (11・1845)
- ・知っていそうで知らない薬価の決まり方／亀井美和子 (11・1851)
- ・優しさを伝える知覚・感情・言語による包括的なケアコミュニケーション技術——ユマニチュード／本田美和子 (11・2013)
- ・薬剤師は乳がん診療においてここまでできる！／森 玄, 宮本康敬, 河野 勤, 渡辺 亨 (11・2019)
- ・新たな研究倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と研究倫理の枠組み／漆原尚巳 (13・2173)

取材記事

【フロントページ】

- ・心電図モニタリングで抗不整脈薬の適正使用に貢献／慈恵会西田病院 (大分県佐伯市) (1・9)
- ・療養病床で実践する栄養療法と病棟業務／鶴巻温泉病院 (神奈川県秦野市) (2・173)
- ・喘息・COPD患者と糖尿病患者への外来指導／名古屋掖済会病院 (愛知県名古屋市) (3・325)
- ・ポートフォリオ・プロジェクト学習による人材育成／国立病院機構中国四国グループ内医療職 (二)・福祉職スキルアップ研修会 (4・505)
- ・中小病院で実践するがん患者指導管理／坪井病院 (福島県郡山市) (5・669)

- ・病院薬剤師, 在宅医療に取り組む！／バルピアノ病院 (大阪府堺市) (6・825)
- ・認知症患者の地域社会への退院を支援／有朋会 栗田病院 (茨城県那珂市) (7・889)
- ・保険薬局で院外処方せんの検査値はどこまで活用されているのか (9・1413)
- ・ポリファーマシーにどうアプローチする？／日本プライマリ・ケア連合学会/ポリファーマシー研修会 (10・1577)
- ・輸血後鉄過剰症の診療を薬剤師・検査技師が支援／江南厚生病院 (愛知県江南市) (11・1765)
- ・パナソニックと共同で薬剤部の機械化を推進／松下記念病院 (大阪府守口市) (12・1929)
- ・長野発 地域で取り組む感染対策と相互ラウンド／北信感染症ネットワーク/北信ICT連絡協議会 (13・2103)

【この人に聞く】

- ・製品開発の相談受け付けます！——企業向け「おくすり相談窓口」開設／鈴木高弘氏 (国際医療福祉大学熱海病院薬剤部/国際医療福祉大学薬学部) (1・14)
- ・精神科領域での感染対策——一般病院と一味違った取り組み／別所千枝氏 (更生会 草津病院薬剤課) (2・179)
- ・不良在庫のリスクを回避して災害支援医薬品を備蓄／安田千賀氏 (東北大学病院薬剤部 薬品管理室長) (3・331)
- ・メトロニダゾール外用剤の市販化に尽力／渡部一宏氏 (昭和薬科大学医療薬学教育研究センター 准教授) (4・511)
- ・副作用情報データベースを使いこなすアプリを開発／坂田 洋氏 (春日井市民病院薬剤部 部長) (5・675)
- ・救急救命士の資格をもつ薬剤師からみた今後の薬剤師とは／今西孝至氏 (京都薬科大学臨床薬学教育研究センター 講師) (6・831)
- ・元担当者が語る審査報告書の読み方のポイント／益山光一氏 (東京薬科大学薬学部 薬事関係法規研究室 教授) (7・895)
- ・災害に対応できる薬剤師育成プログラムがスタート／西澤健司氏 (東邦大学医療センター大森病院 薬剤部長) (9・1419)
- ・ジェネリック普及の今, 新たな課題バイオ後続品／武藤正樹氏 (日本ジェネリック医薬品学会 代表理事/国際医療福祉大学大学院 教授) (10・1581)
- ・精神疾患患者の服薬を訪問支援／天正雅美氏 (さわか院 薬剤部長) (11・1771)
- ・新・実務実習——より実践的な臨床対応能力の養成を／平田收正氏 (大阪大学大学院薬学研究科応用環境生物学分野 教授) (12・1935)
- ・ポリファーマシーチームを発足——入院患者の処方薬を整理／矢吹 拓氏 (国立病院機構栃木医療センター内科) (13・2109)

【レポート】

- ・高血圧合併CKD患者の降圧目標を解説／第8回日本腎臓病薬物療法学会学術集会 (大阪府) (1・93)
- ・腎機能低下時の薬物療法のポイントを解説／第76回九州山口薬学大会 (長崎県) (1・94)

- がん患者との面談をロールプレイングで学ぶ／がん医療に携わる薬剤師を対象としたコミュニケーション研修会（東京都）（2・255）
- がん患者のせん妄治療では回復可能性の判断が重要／第24回臨床精神神経薬理学会/第44回神経精神薬理学会 合同年会（愛知県名古屋）（2・259）
- 糖尿病腎症には血糖・血圧・脂質の多角的な治療戦略を／第3回くすりと糖尿病学会（福岡県福岡市）（2・261）
- メタアナリシスの結果なら信頼できる？／第35回日本臨床薬理学会学術総会（愛媛県松山市）（3・423）
- リスクとベネフィットを考慮した妊婦授乳婦の薬物治療を議論／第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会（和歌山県和歌山市）（3・439）
- 薬剤師ならではのフィジカルアセスメントをどう実践するか／第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会（兵庫県神戸市）（4・594）
- 抗菌薬適正使用の質評価にDOT法が有用／第30回日本環境感染学会総会・学術集会（兵庫県神戸市）（4・625）
- 「薬学教育学」の確立に向け活発な議論／日本薬学会第135年会（兵庫県神戸市）（5・747）
- 循環器疾患患者への緩和ケアを実施／第79回日本循環器学会学術集会（大阪府大阪市）（6・916）
- メントール反応でオキサリプラチンの末梢神経障害を評価／日本臨床腫瘍薬学会学術大会2015（京都市京都市）（6・939）
- 抗菌薬TDMガイドライン改訂に向けて議論／第32回日本TDM学会・学術大会（長野県松本市）（7・1084）
- 尿路感染症治療のベストプラクティスとは？／第63回日本化学療法学会総会（東京都）（7・1106）
- ポリファーマシーにおける薬剤師の役割を議論／第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（茨城県つくば市）（9・1523）
- 高齢者薬物治療ガイドラインのポイントを解説／第57回日本老年医学会学術集会（神奈川県横浜市）（9・1545）
- 乗り越えるべき後発医薬品の課題とは／第23回クリニカルファーマシーシンポジウム/医療薬学フォーラム2015（愛知県名古屋市）（10・1583）
- 静脈栄養法のポイントを紹介／日本病院薬剤師会関東ブロック 第45回学術大会（茨城県つくば市）（10・1684）
- 日本初の統合失調症薬物治療ガイドラインを発表／第45回日本神経精神薬理学会/第37回日本生物学的精神医学会（東京都）（12・2018）
- 低血糖・シックデイの予防と対処法を解説／第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会（新潟県新潟市）（12・2070）
- “可視化”で進む感染制御対策と後進の育成／第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会（奈良県奈良市）（13・2171）
- 医療用麻薬教育認定薬剤師制度が発足／第9回日本緩和医療薬学会年会（神奈川県横浜市）（13・2202）

7月臨時増刊号 専門・認定薬剤師ガイド (Vol.57 No.8)

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1 多領域の知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本薬剤師研修センター認定薬剤師 (8・1163)</li> <li>・日本医療薬学会認定薬剤師／日本医療薬学会指導薬剤師 (8・1165)</li> <li>・日病薬病院薬学認定薬剤師 (8・1169)</li> <li>・薬物療法専門薬剤師／薬物療法指導薬剤師 (8・1171)</li> </ul> <p><b>2 悪性腫瘍</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん専門薬剤師／がん指導薬剤師 (8・1181)</li> <li>・がん薬物療法認定薬剤師 (8・1189)</li> <li>・外来がん治療認定薬剤師 (8・1195)</li> <li>・緩和薬物療法認定薬剤師 (8・1203)</li> </ul> <p><b>3 感染症</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染制御認定薬剤師／感染制御専門薬剤師 (8・1209)</li> <li>・HIV感染症薬物療法認定薬剤師／HIV感染症専門薬剤師 (8・1219)</li> <li>・抗菌化学療法認定薬剤師 (8・1229)</li> <li>・インфекション コントロール ドクター (ICD) (8・1237)</li> </ul> <p><b>4 腎疾患</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎臓病薬物療法認定薬剤師／腎臓病薬物療法専門薬剤師 (8・1243)</li> </ul> <p><b>5 内分泌・代謝疾患</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本糖尿病療養指導士 (8・1253)</li> <li>・骨粗鬆症マネージャー (8・1261)</li> </ul> <p><b>6 免疫疾患</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リウマチ財団登録薬剤師 (8・1269)</li> </ul> <p><b>7 皮膚科疾患</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本褥瘡学会認定師 (認定褥瘡薬剤師)／日本褥瘡学会在宅褥瘡予防・管理師 (8・1277)</li> </ul> <p><b>8 精神科疾患</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科薬物療法認定薬剤師／精神科専門薬剤師 (8・1285)</li> </ul> | <p><b>9 産科・婦人科領域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師／妊婦・授乳婦専門薬剤師 (8・1295)</li> </ul> <p><b>10 小児科疾患</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児薬物療法認定薬剤師 (8・1305)</li> </ul> <p><b>11 栄養療法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養サポートチーム専門療法士 (NST専門療法士) (8・1313)</li> <li>・NR・サプリメントアドバイザー (8・1321)</li> </ul> <p><b>12 救急・中毒医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急認定薬剤師 (8・1327)</li> <li>・認定クリニカル・トキシコロジスト (Clinical Toxicologist) (8・1333)</li> </ul> <p><b>13 プライマリケア・在宅医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライマリ・ケア認定薬剤師 (8・1339)</li> <li>・日本禁煙学会認定指導者／日本禁煙学会認定専門指導者 (8・1343)</li> <li>・在宅療養支援認定薬剤師 (8・1351)</li> </ul> <p><b>14 医薬品情報・医療システム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品情報専門薬剤師 (8・1359)</li> <li>・医療情報技師／上級医療情報技師 (8・1367)</li> </ul> <p><b>15 臨床薬理・臨床試験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床薬理学会認定CRC (Clinical Research Coordinator) (8・1373)</li> <li>・日本臨床薬理学会認定薬剤師／日本臨床薬理学会指導薬剤師 (8・1379)</li> </ul> <p><b>16 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢方薬・生薬認定薬剤師 (8・1385)</li> <li>・公認スポーツファーマシスト (8・1393)</li> </ul> |
|--|---|